



WorldShip® 2021

統合ガイド

本書は、WorldShipが他のビジネスアプリケーションと統合されている場合に、WorldShip® 2021にアップグレードする方法を説明します。また、この最新リリースの統合の強力な機能に関する情報も示します。



WorldShipをアップグレードするには：

1. このドキュメントを再確認します。
2. インストール前統合チェックリストに従います。
3. アップグレードするための都合の良い時間を計画します。
4. Webダウンロードを使用して、アップグレードしてください。
5. インストール後、統合チェックリストに従います。

WorldShipをビジネスに統合する

WorldShipの統合機能は、WorldShipで現在のビジネスシステムから情報に接続できるようにします。

お使いのシステムからデータを利用することにより、キー入力を減らして整合性と正確性を改善することができます。WorldShipはまた、ビジネスシステムに出荷データをエクスポートして、請求サイクルを短くし、トラッキング情報を更新してカスタマーサービスを改善することができます。

統合機能：

新しいサービスのインポートとエクスポート — インポート/エクスポートウィザードと接続アシスタントは、以下のインポートとエクスポートをサポートします。

- **エラーラベル印刷** — 一括印刷中に問題が発生したとき、WorldShipはラベルの順序を維持し、問題の詳細を示すためのエラーラベルを印刷します。
- **危険品のスケジュール** — UPSは、要件を満たす出荷元が危険物質を出荷することを可能にします。詳細については、UPSアカウントマネージャーに相談してください。
- **XMLマップ** — シップメントアドレス、国際的な商品、フレート商品のXML形式によるインポートとエクスポートが行えます。
- **ODBCエクスポートマップ** — WorldShipは、2つの新しいODBCエクスポートマップをサポートします。危険品とチャージバックコードです。
- **XMLインポートファイルの確認** — 確認ツールによる、WorldShipスキーマに基づいたXMLインポートファイルを確認できます。
- **アドレス帳** — 会社の表示名をインポート/エクスポートできます。アドレス帳からのエントリをインポート/エクスポートします。
- **国際貨物書類** — CN 22番号をエクスポートでき、Movement Reference Number (MRN) をインポート/エクスポートできます。

■ **フレート取り扱い単位** — 以下をインポート/エクスポートできます。

- | | |
|-------|------|
| - 説明 | - 長さ |
| - タイプ | - 幅 |
| - 単位 | - 高さ |

■ **フレート貨物情報** — 以下のフィールドをインポート/エクスポートできます。

- | | |
|----------------|------------|
| - UPS取扱店へ持ち込み | - 持ち込み時間 |
| - UPS取扱店での受け取り | - 集荷準備完了時刻 |
| - 持ち込み日 | - |

以下のフィールドをエクスポートできます。

- | | |
|------------|-----------|
| - 持ち込み施設名 | - 集荷施設名 |
| - 持ち込み住所 | - 集荷住所 |
| - 持ち込み市町村 | - 集荷先市町村 |
| - 持ち込み都道府県 | - 集荷先都道府県 |
| - 持ち込み郵便番号 | - 集荷先郵便番号 |
| - 持ち込み国 | - 集荷国 |
| - 持ち込み電話番号 | - 集荷電話番号 |

■ **パッケージ** — 以下をインポート/エクスポートできます。

- 危険品の緊急連絡先氏名
- 危険品の緊急連絡先電話番号
- 危険品の輸送モード
- パレット上の貨物個数

■ **パッケージリスト** — 以下をインポート/エクスポートできます。

- | | |
|-----------|--------------|
| - パッケージID | - パッケージの数量 |
| - 品物ID | - パッキングリストメモ |

■ **シップメント情報** — 以下をインポート/エクスポートできます。

- | | |
|---------------|---------------------|
| - プロファイル名 | - レポートプリンタID |
| - 会社の表示名 | - 危険品プリンタID |
| - ラベルプリンタID | - World Ease®プリンタID |
| - インボイスプリンタID | |

■ **ユーザーフォーム** — 以下をインポート/エクスポートできます。

- | | |
|-----------|----------|
| - ファイル名 | - フォームの数 |
| - フォームタイプ | |



インストール前統合チェックリスト

1. 互換性をチェックします。

WorldShipの統合には、UPS Ready®（またはサードパーティ）ベンダーアプリケーションを使用しています。しかし、WorldShipのデータベース構造が変更されたため、これらのアプリケーションは、WorldShipとは互換性がなくなっている場合があります。

お客様が現在ご使用になっているUPS Ready（またはサードパーティ）ベンダーに連絡して、互換性の確認を得るまでは、アップグレードは行わないでください。

2. OS（オペレーティングシステム）とサービスパックを確認します。

WorldShipのアップグレードのインストールを開始するには、Windows 8.1、またはWindows 10が必要です。

■ お使いのOS（オペレーティングシステム）とサービスパックを確認するには、以下の操作を行います。

- Windowsタスクバーで「スタート」をクリックします
- 「プログラム」、「アクセサリ」および「システムツール」をポイントします
- 「システム情報」を選択します

■ OSのバージョンとサービスパックは、「システム情報」ウィンドウに示されます。

推奨メモリ：

- Windows 8.1 (1 GB - 32ビット、2 GB - 64ビット)
- Windows 10 (1 GB - 32ビット、2 GB - 64ビット)

警告： お使いのシステムに、適切なOSとサービスパックのバージョンがない場合は、続行しないでください。

3. 管理者権限を確認します。

Microsoft WindowsのOSにログインするために使用するユーザーアカウントが、管理者権限を備えているかを確認します。不明な場合は、お客様の会社のコンピュータを管轄するテクニカルサポート担当者にお問い合わせください。セキュリティ機能の強化のため、Windows 8.1/Windows 10ユーザーはインストールプロセス中に管理者権限による認証を求められる場合があります。インストール中に、ユーザーアカウント制御（UAC）によるWorldShipのコンポーネントのインストール許可を求めるメッセージが数回表示される場合があります。インストールを続行するには、そのUACメッセージに応答する必要があります。

また、何かの理由でWorldShipサポートユーティリティにアクセスする必要がある場合、このユーティリティは管理者権限で実行しなくてはなりません。このタスクを実行する方法は、次のとおりです：

■ Microsoft Windows 10 をお使いの場合：

- Windowsタスクバーで「スタート」をクリックします
- 「プログラム」と「UPS」を順にポイントします
- 「UPS WorldShip Support Utility」を右クリックします
- 「管理者として実行」を選択します

■ Windows 8.1をお使いの場合：

- 「スタート」ウィンドウで、「UPS WorldShip Support Utility」を右クリックします
- 「管理者として実行」を選択します

■ Windows 10の場合、スタートウィンドウで「すべてのアプリ」をクリックし、次に「UPS」、次に「UPSサポートユーティリティ」を右クリックし、「管理者として実行」を選択します。

4. WorldShipの出荷履歴をアーカイブして、パフォーマンスと処理速度を向上させます。

■ WorldShipを起動します。

■ F3を押して、出荷履歴ウィンドウを開きます。

■ 「ホーム」タブで、「アーカイブ/復元」を選択し、「シップメントのアーカイブ」を選択します。

■ 「シップメントのアーカイブ」ウィンドウで、「すべての貨物」を選択するか、もしくは日付範囲を指定し、「OK」をクリックします。

■ 「名前を付けて保存」ウィンドウで「保存」をクリックします。

■ 確認ウィンドウで「はい」をクリックします。

注： 直近の14日間の履歴は削除されません。また、削除した履歴は、必要に応じて復元できます。

■ 「貨物をアーカイブ」ウィンドウで100%に達したら、「完了」をクリックします。

■ データベースのバックアップの実行を要求するウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

5. スパイウェア防止、マルウェア防止、およびウィルススキャンソフトウェアを確認して、無効にしてください。

WorldShipのインストールで不具合が生じる可能性のあるので、スパイウェア、マルウェア、およびウィルススキャンソフトウェアを無効にします。



6. ワークグループでのセットアップのチェックの注意事項

- WorldShipワークグループ管理者は1名だけ許可されます。
- ワークグループのリモートワークステーションで利用できるのは、Workgroup管理ワークステーションの言語だけです。ワークグループのリモートワークステーションを別の言語でインストールしている場合、ユーザーは独立したワークステーションとしてインストールする必要があります。このワークステーションはワークグループの構成機能を利用できないことにご注意ください。
- ワークグループのリモートワークステーションが接続できるように、ワークグループ管理ワークステーションのファイアウォールソフトウェアを構成しなければならない場合があります。詳細については、インストール後統合チェックリストセクションを参照してください。

7. 開いているアプリケーションをシャットダウンします。

タスクバーで実行している他のプログラムをすべてシャットダウンします。それには、Microsoft Outlook®、Internet Explorer®、Excel®なども含まれます。

インストールの準備ができました。Webインストールを使用することもできます(<https://www.ups.com/content/us/en/resources/techsupport/worldship/downloads.html>)。アップグレード/インストールする方法の詳細は、サポートガイドセクション(<https://www.ups.com/worldshipsupport>)を参照してください。

警告: Microsoft Windows 8/Windows 8.1/Windows 10 ユーザーの方は、下記をお読みください。

WorldShipのインストールプロセスが完了すると、ご使用のPCを再起動する必要があります。再起動した後、Windows 8/Windows 8.1/Windows 10 は、WorldShipアプリケーションの自動起動を許可しないことがあります。その場合は、デスクトップのアイコンを使用して、WorldShipを起動してください。デスクトップにWorldShipアイコンを配置しないように選択してある場合は、以下に従いWorldShipを起動します。

- Microsoft Windows 10 をお使いの場合:
 - Windowsタスクバーで「スタート」をクリックします
 - 「プログラム」と「UPS」を順にポイントします
 - 「UPS WorldShip」を選択します。
- Windows 8.1をお使いの場合:
 - 「スタート」ウィンドウで、「UPS WorldShip」をクリックします
- Windows 10でアンインストールプログラムを実行する場合、「スタート」、「すべてのアプリ」、「UPS」、「UPS WorldShip」の順にクリックします。

インストール後統合チェックリスト

1. インストール後に、実行する以下のファイルとインバウンドとアウトバウンドトラフィックを受け付けるポートのファイアウォールで許可する必要があります。
 - 実行するための許可が必要なファイルは、次のとおりです。

- GetHostIP.exe	- WorldShipCF.exe
- WorldShipTD.exe	- upsInkmg.exe
- wstdsupport.exe	- sqlservr.exe
 - インバウンドとアウトバウンドのトラフィックアクセスが必要なポートは、次のとおりです。
 - 80
 - 443
 - Workgroup Remoteワークステーションが接続できるように、ワークグループ管理ワークステーションのファイアウォールソフトウェアを構成します。
 - Windowsファイアウォールを使用する場合、WorldShipは自動的にファイアウォールを構成します。
 - 別のファイアウォールを使用する場合、以下の設定を構成しなければなりません。
 - UDPポート1434は着信トラフィックに対して開いておく必要があります。
 - WorldShipデータベースのインスタンスパスは、ファイアウォール例外のリストに含める必要があります。
 - Windows 8.1, Windows 10 - <アプリケーションのロケーションパス>\UPS\WSTD\WSDDB\MSSQL12. UPSWS2014SERVER\MSSQL\Binn\sqlservr.exe

注: MSSQL.XのXは、システムにインストールされたインスタンスの数に基づいて変動します。



2. ウィルススキャン、スパイウェア防止、またはマルウェア防止のソフトウェアを無効にした場合は、それらを有効にしてください。
3. WorldShipがUPSと通信できないというメッセージが表示された場合は、お客様のテクニカルサポート担当者に連絡してください。
4. WorldShipワークグループ管理ワークステーションの場合：ワークグループ管理ワークステーションがスリープモードになると、WorldShipデータベースが切断されることに注意してください。その場合、ワークグループ管理ワークステーションおよびワークグループリモートワークステーションの両方でWorldShipを終了し、アプリケーションを再起動しなければなりません。必要な場合は、スリープモードと設定の調整について、お客様のテクニカルサポート担当者に連絡してください。
5. UPS支給のプリンタをご利用の場合は、出荷を行う前に、プリンタの電源を一旦切り、再び電源を入れて再起動してください。すべてのプリンタドライバはWorldShipと一緒にインストールされています。

サポートガイド

WorldShipでは、[ups.com](https://www.ups.com)で、ユーザーガイド、インストールガイド、およびショートカットガイドをPDF形式で提供しています。

これらのマニュアルを表示または印刷するには、[adobe.com](https://www.adobe.com)で無償提供されているAdobe® Reader® ソフトウェアをインストールし、以下に示す手順に従ってください。

1. <https://www.ups.com/worldshippupport>にアクセスします。
2. WorldShip Resourcesの下で**ユーザーガイド**を選択します。
3. 必要に応じて文書を開覧、印刷します。